

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器外科及び虎の門病院分院消化管センター外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2019年9月1日 ～ 2025年7月31日の間に、大腸悪性腫瘍のために虎の門病院消化器外科もしくは虎の門病院分院消化管センター外科に入院・通院し、手術を受けられた方

【研究課題名】

大腸悪性腫瘍の最適な手術アプローチに関する研究

【研究の目的・背景】

《目的》

大腸悪性腫瘍に対する 様々なアプローチ(開腹、腹腔鏡、ロボット)の利点・欠点を明らかにし、さらなる治療成績の向上を目的としています。

《研究に至る背景》

大腸悪性腫瘍手術は開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット支援下手術、等の様々なアプローチで行われるようになりました。また手術支援ロボットも複数機種が使用可能となっています。しかしながら、どのような場合にどのアプローチで行うことが良いのかは明らかではありません。当院のデータからそれぞれの最適な適応とその成績を明らかにすることで、さらなる治療成績の向上を目指したいと考えています。

【研究期間】

2025年10月24日 ～ 2030年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院 消化器外科において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院・虎の門病院分院の院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院分院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、虎の門病院へ、パスワードをかけたCDに記録した上で郵送で提供いたします。

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、MRI データ、CT データ、など

【研究代表者】

虎の門病院 消化器外科 戸田 重夫

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：消化器外科 戸田 重夫

研究機関の長：院長 門脇 孝

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：消化管センター外科 戸田 重夫

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【利用する者の範囲】

上記以外の研究機関 なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、 2026 年 1 月 31 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 消化器外科 戸田 重夫
電話 03-3588-1111(代表)

虎の門病院分院 消化管センター外科 戸田 重夫
電話 044-877-5111(代表)